

まほろば秦野通信

平成27年3月13日

タイトル	東日本大震災で被害を受けた子どもたちのために 南が丘小学校の児童が募金を寄付
When (いつ)	3月16日(月) 午後1時～
Where (どこで)	南が丘小学校(南が丘4丁目1) 校長室
Who (だれが)	◇南が丘小学校 児童運営委員会(6年・井出篤大委員長)16名、 後藤清志校長ほか担当教諭 ◇生涯学習課 佐藤正男課長、担当職員、にのみやそんとくん(着ぐるみ)
What (なにを)	5・6年生で構成される児童運営委員会では、「東日本大震災を風化させない」「少しでも復興の助けに」という思いのもと、毎年募金活動をしています。 今年、3月9日～11日の朝、昇降口に委員約10名が立ち、被災地への募金活動を行い、1万6016円(去年は2万2587円)が集まりました。
How (どのように)	この度、児童運営委員会が、南が丘公民館で「相馬・双葉地方の震災孤児等に対する支援金」のを知り、被災地の子どもたちのために活用して欲しいと考え、寄付をするものです。 ◇「相馬・双葉地方の震災孤児等に対する支援金」
Why (なぜ)	東日本大震災以降、二宮尊徳ゆかりの17市町村で構成される「全国報徳研究市町村議会」では、震災で大きな被害を受けた加盟市町村(福島県相馬市、南相馬市、大熊町、浪江町、飯舘村)の子どもたちに対する支援として、募金活動に取り組んでいます(本市の窓口は生涯学習課)。
過去の実績	この支援金について市内の学校から寄付を受けるのは今回が初めて。その他、報徳講演会や公民館まつり、たばこ祭などのイベントで募金活動を実施。また、今年からは、市制60周年記念市民企画事業の「With you ありがとう」リレーコンサート実行委員会の協力で、毎月募金活動を展開しています。
今後の取り組み	平成25年度実績：11万7334円 平成26年度実績：8万6316円(今回含む)
問い合わせ	秦野市教育委員会教育部生涯学習課 担当：諸星 電話0463(84)2792